

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 7 月 29 日 更新

事務事業名		トレーニングルーム管理運営事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	3 教育の健康					所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	牧野 淳一
	施 策	11 生涯スポーツの推進					所属課	生涯学習課	担当者名	田尻 真晃
	施策の柱	42 スポーツ施設(環境)の整備					所属班	スポーツ振興班	(内線)	1509
予算科目		会計一般	款 10	項 6	目 2	事業連番 10844	根拠法令	スポーツ基本法 合志市民体育館条例		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	トレーニングルームの運営、機器保守点検業務委託及び修理に関すること。 年3回の保守点検及びそれに伴う修理を行い、耐用年数(5年)以上の使用を行っている。トレーニング機器を活用した健康・体力づくりの指導を行うためにインストラクターを配置している。平成30年度より、一部運営業務委託を行い、人材の確保を行っている。 熊本地震の影響により、閉鎖していたトレーニングルームであるが、平成30年度4月から再開している。 令和元年度から全体を業務委託している。
【業務の流れ】	・トレーニング機器保守点検業務の契約→点検料の支払い ・新規トレーニング機器導入に係る事務→賃貸借契約→トレーニング機器の賃借料の支払い ・トレーニングルーム業務委託契約締結→月末点検実施→翌月初旬までに報告書受領→検査実施→委託料の支払(各月) ・利用契約を希望する企業との利用契約締結→利用料の請求→収納
【主な予算費目】	・消耗品費・修繕費・印刷製本費・委託料・使用料及び賃借料・備品購入費
【意見や要望】	・もう少しトレーニングルームを広くしてもらいたい、器具を増やしたり、新しくして欲しいとの意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 【目的】安全で快適な施設管理・運営を行う。 【内容】施設運営業務の委託、機器の保守点検・修繕を行う。 【実績】施設運営業務委託、機器保守点検業務委託、機器修繕を行った。体育館での運動教室を取り入れるなど利用者確保に取り組み、利用者数は感染症前に比べて9割程度まで回復した。(利用者14,584人) 【成果】多くの市民に利用していただき、市民の体力づくり、健康増進に寄与することができた。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 安定したトレーニング指導や助言を行う。職員のスキル向上に取り組む、来客者のニーズに応えた運営に取り組む。利用者が安心して利用できるよう施設管理を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 開室日数	日	人件費単価変更によるトレーニングルーム運営業務委託料の増
イ: 点検回数	回/年	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	人	→ ア: 定期利用者数
	台	→ イ: 機器設置台数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
トレーニングルームを利用してもらい、体力づくり・健康増進につなげてもらう。	人	→ ア: 利用者数
	件	→ イ: 体力向上指導数
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
利用者が安全にトレーニングできるよう設定。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移										
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア 日		294	293	295	295	295	295	295	295
	イ 回/年		3	3	3	3	3	3	3	3
② 対象指標	ア 人		72	92	100	133	100	100	100	100
	イ 台		22	22	22	22	22	22	22	22
③ 成果指標	ア 人		13,378	15,963	20,000	20,884	20,000	20,000	20,000	20,000
	イ 件		11	9	60	13	60	60	60	60
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	2,938	3,580	3,000	4,466	4,080	5,400	5,400
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	6,393	6,178	7,409	5,729	6,787	4,000	4,000
	(A) 事業費計	千円	9,331	9,758	10,409	10,195	10,867	9,400	9,400	9,400
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間	705	710	500	790	500	500	500
	(B) 人件費計		千円	2,756	2,702	1,992	2,877	1,992	1,992	1,992
トータルコスト(A)+(B)		千円	12,087	12,460	12,401	13,072	12,859	11,392	11,392	

合志市

事務事業名	トレーニングルーム管理運営事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 感染症拡大のため休館や時短営業などがあり、目標値に達しなかった。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 感染症拡大の状況によるが、利用者数は徐々に回復しているため、達成できる見込みである。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 委託先のトレーニングルームインストラクターのスキルアップに伴う、サービスの向上は一定数望まれるが、設備面については、年次計画的に点検修理をしているため、費用対効果の上では、これ以上の向上の余地はない。 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 既に過年度において類似事業と統合済みである。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 トレーニングルームの管理運営を指定管理者制度に移行する方法もあるが、利用者の利便性等を考慮すると現時点では削減できない。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 指定管理者制度に移行すれば、削減になる。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 トレーニングルーム利用者からは、公平公正に利用料を徴収している。 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市のトレーニング機器が老朽化しているが、耐用年数を超えて使用しているため、修繕不可となるものがほとんどとなっている。解決には機器の更新が必要だが、市内にもトレーニングジムが出店しており、行政から民間主体への移行も検討が必要。 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

トレーニング機器の経年劣化や、設置からの年数が経過しており、修繕不能箇所が増えている。指定管理においては、機器導入も含めての検討が必要。
 2年度からは運営全体を委託業務とし実施しており、トレーニング指導や生活改善のアドバイス、他課での健康関連事業との連携を進める。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												